

# 知事と語ろう市町村ミーティング in しらたか



7/27  
(火)

7月27日、あゆーむで「知事と語ろう市町村ミーティングinしらたか」が開催され約160人の町民のかたが参加しました。

吉村知事は、ミーティングを前に、町内のどりいむ農園直売所・深山観音堂などを視察されました。

ミーティングは一問一答方式で行われ、町民の質問に対し、吉村知事は丁寧な回答されていました。

以下、ミーティングの内容を掲載します。(質問は一部のみ掲載させていただきます。)

※全質問・回答の内容については、県のホームページに掲載されます。

## ◆医療行政について

Q

白鷹町立病院には、現在産科がないので、お産をする人は緊急時に対する不安がある。子どもを産みやすい環境の確保のため、県としては医療の確保としてどのような方策

をしているか。また、将来の見通しをどのように考えているか。

A

医師確保は大事なことであるが、産婦人科は全国的に不足している状況だ。県の対策としては、医療修学資金の貸付制度、今年度から山形大学に寄付講座を設け地域医療に携わる人の育成を行っている。現在の医師に対する待遇改善や働きやすい環境を整えながら、医師との連携を図りながら安心して産み育てられる環境をつくっていきたい。

## ◆荒砥高等学校の存続について

Q

西置賜地区高校再編成検討委員会から報告書が県教育委員会にだされたが、地域の活性化のためにも単独高校としての存続をお願いしたい。

A

数ですべて切るのはいかなものかと思っている。シンボリックなものであり、キャ

## ◆つや姫のブランド化について

Q

ンパス制度という柔軟な考え方もあり、今後「地域のみなさんの声を聞きながら県教育委員会を進めてもらいたい。」と指示している。

つや姫はブランド化のため、県で許可した農家でないと作れないが、基準に入れない農家の人も作ってみたいと思っている。ブランド化戦略の後、自由に作れるようになるのか、今後の県の指針をお伺いしたい。

